

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんとうきょうげいじゅつざ		
	制作団体名	有限会社 劇団東京芸術座		
	代表者職・氏名	取締役 北原章彦		団体ウェブサイトURL http://www.tokyogeijutsuza.co.jp/
	制作団体所在地	〒 177-0042	最寄駅(バス停)	西武新宿線「上井草」駅
		東京都練馬区下石神井4-19-11		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	げきだんとうきょうげいじゅつざ		
	公演団体名	劇団東京芸術座		
	代表者職・氏名	劇団代表 崎田和子		団体ウェブサイトURL http://www.tokyogeijutsuza.co.jp/
	公演団体所在地	〒 177-0042	最寄駅(バス停)	西武新宿線「上井草」駅
		東京都練馬区下石神井4-19-11		
	制作団体 設立年月	昭和39年2月(登記年月)		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		劇団代表 崎田和子 取締役 北原章彦 制作部長 嶋田みどり 常任幹事 鈴木健一郎	構成員／60名(演出部／演技部／制作部) 演劇養成機関卒業生を対象に入団審査を実施。また、演劇未経験者を対象とした「実習性」を通年募集しています。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者置く	本事業担当者名	北原章彦 鈴木健一郎
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	筒井正彦
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		ken1lohszk@gmail.com		0339974341

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>劇団東京芸術座は1959年2月に新協劇団(代表／村山知義)と中央芸術劇場(代表／薄田研二)が合同し結成され、同年4月、村山知義／作・演出「終末の刻(とき)」(主演／薄田研二)公演で旗揚げ以降、東京公演全160作品を上演、創立65周年を迎えています。</p> <p>また、1960年からは主に全国の中学校・高等学校を対象とする芸術鑑賞教室の巡演を開始し、教育現場における文化芸術鑑賞の普及・発展に貢献してきました。同時に、全国の市民劇場・演劇鑑賞会や子ども劇場の活動とも連携し、数多くの巡演を重ねています。</p> <p>【近年における上演実績】</p> <p>H21年度 「本物の舞台芸術体験事業」 【Challeng-edー遠い水の記憶ー】</p> <p>H23～25年度 「次代を担う子供の文化芸術体験事業」 【赤ひげ】</p> <p>H26～29年度 「文化芸術による子供の育成事業」 【夏の庭ーThe Friendsー】</p> <p>R1～R3年度 「文化芸術による子供育成総合事業」 【Challeng-edー遠い水の記憶ー】</p> <p>R2年度補正 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」 【未来】(プログラム選択型)</p> <p>R3年度補正 「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」 【未来】(プログラム選択型)</p> <p>〃 〃 【12人の怒れる男たち】(学校選択型)</p> <p>R4年度 「文化芸術による子供育成推進事業」 【パンプキン！ー模擬原爆の夏ー】</p> <p>R5年度 〃 【パンプキン！ー模擬原爆の夏ー】</p> <p>R7年度 「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」 【パンプキン！ー模擬原爆の夏ー】</p>
	学校等における公演実績	<p>1960年から情操教育の一助となる演劇を全国の中学生・高校生に届ける「名作劇場」公演を開始。65年間で38演目を巡演(※下に記載)。上演回数は業界上位の実績です。</p> <p>1960～ うぬぼれ兎 狐山伏 守銭奴 イワンの馬鹿 結婚 初恋 スカパンの悪だくみ 検察官</p> <p>1970～ はだしの貴族 どん底 レ・ミゼラブル 小麦色の仲間たち ヴェニスの商人 蟹工船 ベートーヴェン 銀河鉄道の恋人たち 回転軸 あゝ野麦峠 翼は心につけて</p> <p>1981～ 赤ひげ 勲章の川 私のアンネフランク ふぉん・しいほるとの娘 にんじん 12人の怒れる男たち 野望の系譜 冒険者たち ウメコがふたり</p> <p>1995～ あわて幕やぶけ芝居 子供の時間 あの日は ブラボーファーブル先生 NewsNews 夏の庭 稲の旋律</p> <p>2006～ GO 風が吹くとき はつかねずみと人間 赤ひげ おれはなにわのライオンや 夏の庭 12人の怒れる男たち</p> <p>2016～ Challeng-ed 未来</p> <p>2021～ 12人の怒れる男たち パンプキン！ 医者の子</p> <p>2023年度 巡演3作品(実績) 小学校/12公演 中学校/4公演 高校/49公演</p> <p>2024年度 巡演3作品(実績) 小学校/1公演 中学校/2公演 高校/48公演</p> <p>2025年度 巡演3作品(決定数) 小学校/7公演 中学校/8公演 高校/79公演</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>2009 山形盲学校・山形聾学校 「12人の怒れる男たち」</p> <p>2010 長浜養護学校(滋賀県) 「12人の怒れる男たち」</p> <p>長浜北星高等養護学校(滋賀県) 〃</p> <p>2016 帯広盲学校(北海道) 「夏の庭-The Friends-」(H28 子供の育成事業)</p> <p>2018 甲南高等養護学校(滋賀県) 「Challeng-edー遠い水の記憶ー」</p> <p>三雲養護学校石部分教室(滋賀県) 〃</p> <p>2019 長浜北星高等養護学校(滋賀県) 「Challeng-edー遠い水の記憶ー」</p> <p>長浜養護学校(滋賀県) 〃</p> <p>2021 山梨県立高等支援学校桃花台学園 「未来」 (R2補正 体験支援事業)</p> <p>2022 函館高等支援学校 「未来」 (R3補正 体験再興事業)</p> <p>2023 宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校 「パンプキンー模擬原爆の夏ー」(R5 子供育成推進事業)</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=Q9koaS5MKHl&t=61s	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添

なし

【公演団体名 劇団東京芸術座 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「パンプキン」って、なに？			
企画のねらい	小学生の思考を通して、原爆を知り戦争を知る。そして考えます。 原作の児童文学を演劇で立体化することによってより楽しみながら理解を深め、 世界では今も戦争が続いていること、それは遠い昔のことではないことを一緒に考えます。			
演目概要・演目選 択理由	『児童・生徒の皆さんに広く親しまれている青い鳥文庫を舞台化』 令丈ヒロ子さんの代表作【若おかみは小学生！】シリーズは累計300万部のベストセラーとなり、漫画・TV・劇場版アニメなどで多くの児童生徒の皆さんに親しまれています。 【パンプキン！-模擬原爆の夏-】は2011年に刊行後2019年には青い鳥文庫版でも出版され、広く長く多くのの人に親しまれています。読書から舞台参加までの連動した企画としてご提案します。 『知ることの大切さと平和の尊さ』 この作品は実体験をもとにした児童書です。作者の令丈さんは地元大阪で偶然「模擬原爆慰霊碑」(大阪府田辺市)を見つけます。太平洋戦争末期、アメリカ軍は原爆投下を成功させるため、長崎に投下された原爆「ファットマン」と同形状・同重量の練習用爆弾を全国49ヶ所に投下、400人以上が犠牲になりました。「知ってしまった以上、知らなかったことにはできない。日本中が知った方がいい。特に子どもたちに知ってほしい。」 令丈さんは身近なこととして感じてもらえるよう、小学5年の女の子を主人公に、同じ年の「いとこ」とおじいちゃんの力を借りながら、夏休みの自由研究【模擬原爆(パンプキン爆弾)】に取り組んで行く物語を書きました。主人公ヒロカは「知らなかったことだから知りたい！」探求心を大きく膨らませることで成長していきます。ヒロカにとって(世界の)現実とは複雑で過去の事実とはあまりにも過酷でしたが、持ち前のポジティブ精神で「わからんけど進んで行こう、みんなが仲良く暮らせる世界になるまであきらめたらあかんのや！」と決意します――。 “知ることの大切さ”や“平和の尊さ”を、是非みなさんと深く共感したいと思っています。			
	1) 全体コミュニケーションワークを実施 2) 「パンプキン体操」 出演者／3～5名 (ラジオ体操、パンプキンバージョン) 3) 「地下鉄田辺駅前・どちらにお出かけ？」 出演者／3～5名 (改札前、皆で台詞を創作。) 4) 「ヒロカと歌って踊ってタクミを探索！」 出演者／3～5名 (オリジナルダンス。) ※ 観劇のみの児童・生徒の皆さんも劇中歌「バケツのおひさんつかまえた」(アニメ「じゃりん子チエ」エンディングテーマ)を客席で一緒に歌っていただきます。			
児童・生徒の 参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	3～15名	
		鑑賞人数目安	10～700名程度	
本公演演目	「パンプキン！ -模擬原爆の夏-」 原作／令丈ヒロ子 脚色／演出／北原章彦 (講談社/青い鳥文庫所収)			
原作/作曲	美術／幡野寛 照明／関定己 音楽／永橋京子			
脚本	音響／馬上真勝 振付／酒井麻也子 方言指導／前田剛志			
演出/振付	公演時間 75 分			
出演者	<仲井ヒロカ(小5)>／今井香澄 <母>／樋川人美 <父>／梁瀬龍洋 <おじいちゃん>／手塚政雄 <木南たくみ(小5)>／大橋純子 <駅員>／中屋力樹			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<おじいちゃん>役の手塚正雄は1979年入団、芸歴45年。<母>役の樋川人美は1982年入団、芸歴41年。ともに中心俳優として活躍を続けています。 また、脚本を手がけた北原章彦は1983年入団、2025年度「パンプキン！ -模擬原爆の夏-」のほか、「医者の子」の演出を担当。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	6	名	運搬 積載量: 4 t 車 長: 8.5 m 台 数: 1 台
	スタッフ:	6	名	
	合 計:	12	名	

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:00	8:00～12:30		13:30～14:45	0	15:00～16:30	16時30分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	10日		0日		0日		0日	
	10月		11月		12月		1月	
	0日		19日		14日		10日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		53日	
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真) ※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し てください。	 <p>基本舞台は体育館のフロアに設置します。 奥行き ／ 約8.5mm（舞台最前面から体育館のステージ前面まで） 舞台開口幅／ 約12m</p>							
	 <p>← 舞台裏</p>							
								
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続 の要否		該当あり		該当コンテンツ名		原作使用料	
	該当事項がある 場合	権利者 名	株式会社講談社		許諾確認状況		使用(上演)許諾取付済	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

劇団東京芸術座

】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>① 人前で表現する際の緊張や失敗することへの恐怖心などを、一人ひとりが自覚し認め合うことで、信頼関係を構築していくことが実施の重要なポイントです。目標に向かう過程で発揮されるポジティブな発想力・行動力・コミュニケーション力・それぞれの表現などを最大限に引き出す努力を行います。各々の持っている個性に自信を持つことが目的です。</p> <p>※ 今回のプログラムは体操・ダンスの正確さ以上に、楽しく身体を動かすことを重点に考えています。もう一つのプログラムは言葉を重点に創作する楽しさを考えます。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	<p>3～15名</p> <p>※全体ワークショップは、1学年50名程度迄</p>
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>【前半のウォームアップシアターゲーム + 後半の各シーン創造】</p> <p>① 全員で簡単なゲームを行ってコミュニケーションを取り易い雰囲気を作ります。</p> <p>② 各シーンに分かれワークショップを実施。シーンごとに児童生徒の皆さんが独自のアイデアを加えながら、全員で一つの場면을創り上げていきます。</p> <p>③ 創り上げたそれぞれの場面を全員で振り返ります。出来栄はもちろん、表現したことがちゃんと伝わっているか？など、より良くなる方法を全員で考えます。</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>【シーンA】「パンプキン体操」 出演者／3～5名(応相談)</p> <p>① 導入部で「キャラクターワーク」のシアターゲームをします。 ② どんなキャラクターでラジオ体操に参加したいかを話し合います。 ③ ラジオ体操の曲をアレンジした音楽に合わせ、自分たちが決めたキャラクターになりきって楽しい体操を創作します。</p> <p>【シーンB】「地下鉄田辺駅前、どちらにお出かけ？」 出演者／3～5名(応相談)</p> <p>制約のない自由な発想で「どこに行ってみたいか」を話し合い、お出かけシーンの台詞を作ります。また、待ち合わせに遅れてくる子の設定もあります。遅れてしまった理由も子どもたちの発想を大事にしながら創作していきます。</p> <p>【シーンC】「ヒロカと歌って踊ってタクミを搜索！」 出演者／3～5名(応相談)</p> <p>まず、基本の振付を覚えます。その後、創作を加えたり、ポーズを決めます。ダンスそのものよりも、踊りの中でその時の各々の心情がどう表現されているかに重点をおいて練習します。</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>特別支援校での実施に関して</p> <p>○台本・公演DVDの事前配布により、作品への興味を引き立てます。</p> <p>○先生方との事前打ち合わせを重視します。実情にそったカリキュラムを作成します。</p> <p>○上演前にバックステージツアーを実施し、安全面に配慮します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団東京芸術座 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		75 A以上	
舞台設置面積		間口	12 m		奥行	8.5 m	
		高さ	0 m				
舞台設置場所		フロア対応	可		学校のステージでの対応		条件が合えば可
搬入間口の広さ		幅	1.8 m		高さ	2 m	
遮光の要否		7割程度必要		緞帳の要否			不要
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
				ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要	
搬入車両(トラック等)の横づけ		応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			50 m以内
搬入車両の種類		中型トラック		台数	1 台		
搬入車両の大きさ		車幅	2.46 m		車長	8.44 m	
備考		公演関係者(12名)の控室を、別途ご用意いただきます。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
会場図面の提出要否	要				
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	(学校への進入経路に4t以上の通行規制がある場合)進入経路図面。				

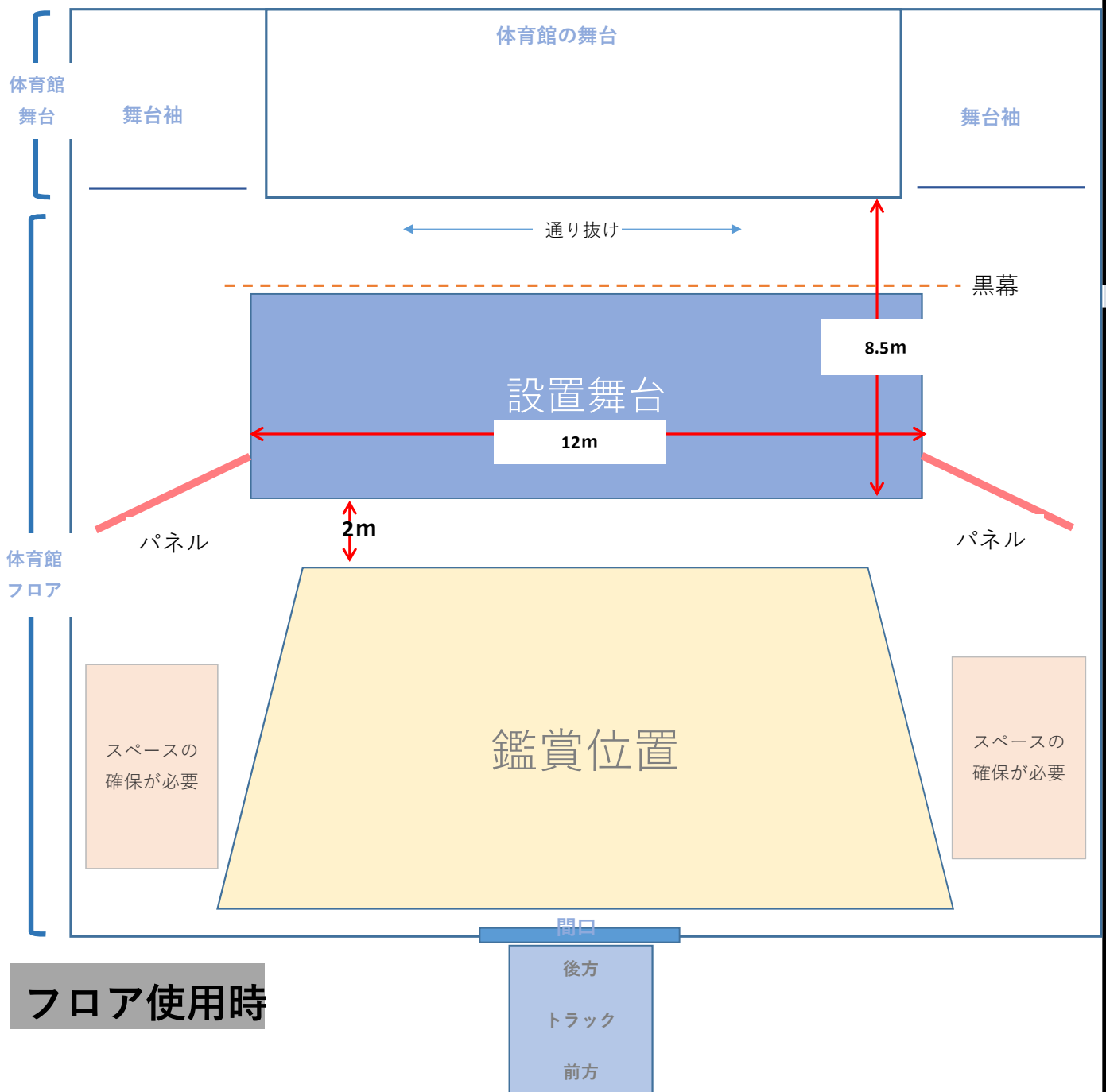
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	任意	授業時間以外	ワークショップで習得した内容の、自主的またはグループでの見直しや改良点などの練習	ワークショップ時に録画したものを、プライバシーに配慮した形で学校にお送りします。	
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

劇団東京芸術座

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

児童・生徒のみなさんと一緒に考えたいこと。

世界で唯一の戦争被爆国であるわたしたちの暮らす日本では、戦後80年にわたり教育現場での平和教育の継承が行われて今に至っています。

「模擬ゲンバク」は、原子爆弾投下の練習爆弾として全国49カ所に投下され、多くの犠牲を生みました。

私たち劇団東京芸術座も、児童劇を通じてゲンバク、ヒロシマ、ナガサキ、ヒバクシャを題材に、平和について考えるきっかけとなる舞台を届けたいと考えています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

児童文学作家、令丈ヒロ子さんの原作を活用。

本公演の事前事後を問わず、子どもたちがこの劇の原作にふれる機会を得ることで、本事業から続く学校の平和への取り組みに貢献できると考えています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

新年度ご担当される先生宛に直接郵送物(実施内容説明書及びワークショップ参加者記載用紙など)をお送りできるよう手配しています。
ご担当先生がご多用のため電話連絡が困難な場合に備え、あらかじめ学校でご使用のメールアドレスをお伝え頂き、劇団からお送りするメールへの返信を頂く形式で記録を残し、相互連絡に齟齬が生じないよう留意しています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

ワークショップの終わりに、各グループのその日の成果を全員で確認します。
各々の課題を見つけてもらい個人練習またはグループ練習への意欲を促します。

本公演当日は、各グループが実際の舞台を使用して場面稽古を数回ずつ行います。
舞台での約束ごとや危険な箇所など安全面を中心に確認し、出演する児童生徒の皆さんがこれまでの成果を精一杯発揮できるよう見守ります。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

実施校からのご要望により出演者との座談会を行います。
舞台に関わる人たちがどういう視点でどんな思いをもって舞台創造に取り組んでいるかを知ることで、演劇をはじめ芸術文化への関心を強めてもらっています。